

内視鏡科

動には既に取り組んでいるところですが、今後より広くアピールをしていきたいと考えます。

(文責：小野英樹)

(スタッフ)

副部長：小野 英樹 (消化器内科副部長兼任)

内視鏡科での診療は各担当科の医師が担当しています。消化器内科は毎日、消化器外科・呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科・呼吸器外科は火曜と木曜を担当しています。必要時は小児外科も担当しています。緊急時はこの限りでなく各科がいつでも対応できるようにしています。消化器内科の小野が内視鏡科全体の運営を行っています。看護師は増減がありました。が現在まで6人体制で維持されていて、時間内業務および時間外オンコール業務に対応しています。

(診療実績)

2021年の検査総数は4,551件で、昨年より215件増加しました。上部内視鏡2,525件、大腸内視鏡1,283件、内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)208件、小腸カプセル内視鏡16件、ダブルバルーン小腸内視鏡3件でした。気管支鏡検査の増加が今年最も特徴的であり、昨年より58件増加して294件でした。およそ25%の増加に相当します。

処置や治療の件数はそれぞれで増減がありました。内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は食道9件、胃40件、大腸9件でした。ERCPの関連治療手技としては188件となっています。また、超音波内視鏡検査(EUS)とその関連処置(EUS-FNA、経消化管ドレナージ)の症例は昨年よりやや減少しています。それぞれ198件、24件でした。時間外緊急内視鏡検査は62件でした。

各診療科別検査件数は、消化器内科3,635件、消化器外科606件、呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科295件、呼吸器外科0件、小児外科15件でした。

(今後の方向性)

コロナ禍の時代においても、全体の内視鏡検査数は昨年より回復しました。改修工事後の診療環境の改善に加え、機器の拡充やスタッフの尽力によるものです。2022年度から消化器内科の医師が増員になるため、外来における紹介患者や救急患者の対応体制のさらなる効率化が見込めます。従来は入院対応をしていた大腸ポリープ切除症例については、昨今の事情により当日のベッド確保が困難になりました。対策として日帰りポリープ切除治療を導入して、収益の確保を図っています。

紹介患者を増やすための開業医への宣伝・広報活

表1 内視鏡・検査処置件数推移

R3年1月～12月

	日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上部内視鏡	観察	168	192	236	183	137	199	191	194	186	208	184	182	2,260
	ESD（胃）	5	2	7	4	3	3	3	1	2	2	4	4	40
	ESD（食道）	1	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	2	9
	EMR	1	0	1	4	0	0	0	0	0	1	0	2	10
	点墨（マーキング）	1	0	0	1	0	0	2	0	2	2	0	0	8
	EVL	1	1	1	2	2	3	2	3	0	2	1	3	21
	止血	2	6	7	2	1	7	4	3	5	3	2	3	45
	拡張	6	2	2	3	0	1	1	1	0	1	0	1	18
	イレウス管	2	0	3	4	0	3	3	3	3	2	0	2	25
	ステント	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	5
	異物除去	3	0	1	2	0	2	2	1	1	1	1	4	18
	PEG	3	2	4	6	3	2	5	10	2	3	2	5	47
	PEG 交換	0	1	2	2	3	2	1	1	2	0	2	0	16
	LECS	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
検査合計	194	207	265	216	150	225	214	218	205	225	198	208	2,525	
内視鏡 超音波	EUS	21	15	17	10	10	10	21	19	17	14	24	20	198
	EUS-FNA	3	5	0	3	0	1	0	3	4	2	1	2	24
	検査合計	24	20	17	13	10	11	21	22	21	16	25	22	222
	カプセル内視鏡	2	1	1	0	2	1	2	2	0	1	3	1	16
	小腸内視鏡	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
下部内視鏡	観察（造影含）	84	76	102	81	74	94	88	67	100	96	101	111	1,074
	ポリープ切除	14	18	17	12	4	12	6	8	10	9	11	11	132
	ESD	1	0	0	2	0	1	1	1	2	0	0	1	9
	点墨（マーキング）	0	1	0	2	1	4	0	1	2	0	1	0	12
	拡張	2	4	3	1	1	1	2	1	1	1	1	1	19
	イレウス管	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	ステント	2	1	2	2	1	0	1	0	1	1	0	3	14
	異物除去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	止血	1	2	0	1	4	0	4	0	2	2	1	1	18
	結腸軸捻転解除	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	4
	検査合計	104	102	125	101	87	112	103	78	118	109	116	128	1,283
ERCP	造影のみ	5	1	1	1	0	2	3	2	1	0	2	2	20
	胆管結石除去	6	4	7	6	6	4	5	3	9	9	10	6	75
	ステント	11	7	11	11	7	5	9	13	8	8	8	8	106
	その他	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	7
	検査合計	22	13	19	18	13	11	17	20	19	20	20	16	208
	気管支鏡	19	25	28	25	19	17	20	24	21	27	34	35	294
上記に含む	OPE室使用	2	8	3	4	2	3	8	3	1	3	2	3	42
	当日予約外	56	67	94	77	38	39	47	72	58	51	64	81	744
	透視使用	46	40	64	53	42	33	40	48	60	52	51	62	591
	時間外呼出件数	13	5	4	5	4	2	5	2	5	3	2	12	62
総数	検査数	366	368	455	374	281	377	377	364	384	398	397	410	4,551

科別件数	消化器内科	296	284	377	286	217	302	311	285	294	333	328	322	3,635
	外科	49	57	48	63	45	57	43	53	69	38	35	49	606
	呼内・呼腫瘍内科	20	25	28	25	19	17	20	24	21	27	34	35	295
	呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小児外科	1	2	2	0	0	1	3	2	0	0	0	4	15
	総数	366	368	455	374	281	377	377	364	384	398	397	410	4,551

表2 過去5年間の検査数推移

(単位：件)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
上部内視鏡検査	2,617	2,750	2,818	2,625	2,747
大腸内視鏡検査	1,399	1,419	1,404	1,308	1,283
内視鏡的逆行性膵胆管造影	155	227	220	152	208
小腸カプセル内視鏡検査	6	22	18	8	16
ダブルバルーン内視鏡検査	12	18	17	7	3
気管支鏡検査	243	231	228	236	294
合計	4,432	4,667	4,705	4,336	4,551

表3 診療科別件数

(単位：件)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
消化器内科	3,287	3,565	3,740	3,447	3,635
消化器外科	878	856	702	631	606
呼吸器内科・呼吸器腫瘍外科	220	227	224	234	295
呼吸器外科	14	5	11	2	0
小児外科	24	14	28	22	15
合計	4,423	4,667	4,705	4,336	4,551